51th
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2017.　4.　3　　第2378回例会

感謝の心で 奉仕と親睦を

東京城東ロータリークラブ会長　細谷　貞治

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長　細谷貞治　副会長　阿部　豊
幹　事　兒玉正行　副幹事　江波戸健治
会報委員長　池永憲明

ＲＩ会長
ジョン F. ジャーム
第2580地区ガバナー
上 山 昭 治
第2580地区幹事
田 中 永 二
ガバナー補佐：鈴木秀史
(東分区担当)
東分区幹事　：瀧澤一郎
東分区副幹事：鈴木正名

人類に奉仕するロータリー

本日の卓話

「 スティーブ・マックイーンとの１週間 」

俳人協会「俳句文学館」編集長
上谷昌憲 氏

2017/3/27（月）
「 日本の主食、お米からみた日本の未来 」
（株）隅田屋商店 代表取締役
片山 真一 氏

ニコニコボックス

○片山様、本日の卓話よろしくお願い致します。
細谷貞治君・兒玉正行君・阿部　豊君
村上愼吾君・奈良康司君・佐野一信君
山田　晃君・池永憲明君・山田　昇君
江波戸健治君・山﨑富士夫君
○稀勢の里の優勝に感激しました。
渡辺孝至君
○誕生祝を頂いて。　中村浩紹君

小計￥41,000.-　累計￥1,994,000.-

- 4月の受付当番 -

山﨑君/山田(昇)君/会田君/青木君/秋山君

2017年3月27日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『それでこそロータリー』
ゲストスピーカー	0名
ゲスト及びビジター	2名
会員出席状況	48名中38名(出席率79.17%)
前々回訂正出席率	100%

次回の卓話

「 クラシック音楽鑑賞会 」

大石洋史 氏・星野真貴 氏・野口絵美 氏
(バリトン)・(ソプラノ)・(ピアノ)

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

ー ４月お祝 ー

出席祝

岡本君、津覇君、上條君
中田君、山﨑君、杉田君

会員誕生祝

岡本君、若井君、今井君

奥様誕生祝

今井君、鯨岡君
佐野君、鈴木（良）君
以上、会員令夫人

結婚記念日

青木君、水谷君
伊藤（裕）君、鈴村君

皆様、おめでとうございます！

○４月の行事予定

4月　3日(月)　11：30～　第10回理事役員会
　　12：30～　通常例会
　　18：00～　次年度委員長会
　　（亀戸天神社）
4月　7日(金)　14：00～　第2580地区
　　第2回職業奉仕研究会
　　（ホテルグランドパレス）
4月10日(月)　12：30～　通常例会
　　13：30～　第5回クラブ協議会
4月17日(月)　12：30～　通常例会
　　13：30～　第2580地区
　　研修協議会
　　（ﾊｲｱｯﾄﾘｰｼﾞｪﾝｼｰ東京）
4月18日(火)　17：30～　上野奏楽堂コンサート
4月23日(日)　14：00～　第2580地区
　　青少年奉仕包括成果発表会
　　（AP西新宿6階会議室）
4月24日(月)　16：00～　被選理事役員会
　　17：00～　昇殿参拝
　　17：30～　受付開始
　　12：30～　観藤夜間例会
　　（亀戸天神社）

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2017.2.16

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

ロータリー学友世界奉仕賞に緒方貞子氏

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生の緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として２人目のロータリー国際親善奨学生となりました。「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、様々な経験ができました。『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」と緒方氏は振り返ります。

カリフォルニア大学バークレー校で博士号を取得後、国際基督教大学と早稲田大学で教鞭をとりました。その後1991年に国連難民高等弁務官UNHCRに就任。国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。国連難民高等弁務官としての10年間、緒方氏は、湾岸戦争、ルワンダと旧ユーゴスラビアでの民族紛争、冷戦時代のアフガニスタン紛争における難民、そして旧ソビエト連邦からの難民を支援しました。

難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所の予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争の的となり得るのです」

2000年にUNHCRを退職後も、政府や国際関係の舞台で積極的に活動し、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構（JICA）の理事長を２期務めた他、小泉元首相が設置した有識者会議のメンバーとしても活躍しました。政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は話します。

「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人々のつながりが、これまで以上に重要性を増しています」